

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日更新

事務事業名		所管事務調査事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展				
総合計画体系	政策	1	自治の健幸	所属部	議会事務局	課長名	九重 浩光	
	施策	2	行政経営の推進・改革	所属課	議会事務局	担当者名	西村 充保子	
	業務分野	10	開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線)	1311	
予算科目		会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番	10935	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	常任委員会、議会運営委員会等が所管する事務について、先進地の視察研修調査を行う。先進地を視察し、より良い事業を市政に反映するため研修調査を行っている。市民ニーズの高まりと多様性から、審議内容も複雑化してきており、先進地を視察することにより知識を高めていく必要がある。 常任委員会と議会運営委員会は、2年に1回ずつ実施。研修先は関東方面も視野にしている。
【業務の流れ】	各常任委員会、議会運営委員会等の所管する事務の研修内容、研修地等を委員長、担当課との協議のうえ選定、相手先との視察の日程調整等を行う。研修に際しては担当部の職員及び事務局職員が同行し、委員会所管事務調査を補佐する。
【主な予算費目】	旅費(費用弁償・普通旅費)

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 議会運営委員会(関東)、予算決算常任委員会(関東・関西)における所管事務調査を実施し、先進事例等を調査することができた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)
 総務・文教経済・健康福祉常任委員における所管事務調査の所管事務調査を計画している。

③予算の主な増減の理由
 前年度は予算決算常任委員会、議会運営委員会における所管事務調査であったが、今年度は総務・文教経済・健康福祉常任委員所管事務調査のため旅費(費用弁償)の減

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 視察目的が達成できたと考えている議員の割合	%	
イ		
ウ		

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	0
事業費	財源内訳									
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
一般財源	千円		2,064	2,149	3,904	2,934	2,748	2,748	2,748	2,748
(A) 事業費計	千円		2,064	2,149	3,904	2,934	2,748	2,748	2,748	2,748

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 先進地に赴き研修を積むことで、その成果が本会議中の一般質問・質疑や委員会活動等に生かされ、結果として市政に反映されている。

(4)今後の事業の方向性
 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)